

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-26 第2600回 例会2017年2月2日 (木)

卓 話

会長 中島高夫

会長エレクト 渋澤健司

副会長 巴 高志

野田貞之 飯塚明男

幹事 坂本雄一

2016～17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

第2570地区ガバナー 前嶋修身

進行: SAA 坂本優蔵 チーフ

国歌: 君が代

点鐘: 12:30 中島高夫 会長

ソング: 奉仕の理想

会長の時間

皆さんこんにちは
2月の第1例会によ
こそ出席を頂き誠にあ
りがとうございます。
本日11時より理事会
が開かれました。審議
事項で3月の例会が承
認されましたので報告
致します。第1例会は春山茂之パスト会長の卓
話です。第2例会は夜の例会になります、3名
の会員にスピーチをして頂きます。第3例会は
本庄警察署長の卓話と警察官2名の表彰を行
います。第4例会美喜鮓にて懇親会になりますの
で宜しくお願ひ致します。以上です。本日の卓
話者ですが、本庄ロータリークラブ4人目のガ
バナーとして輩出されご活躍を頂きました、高
柳育行直前ガバナーです。後程卓話を宜しくお
願い致します。

心と体をつくる食育の話をしたいと思
います。食事の前の「いただきます」というあいさ
つは食べ物への感謝の気持ちが込められています。
皆さんのが食べている食べ物は、元をたど
れば、すべて生きていたものです。その命をいた
だく感謝の気持ちを表すのが「いただきます」
というあいさつです。

食事の後のあいさつの「ごちそうさま」の
「馳走」という言葉には「駆け回る」という意味
があります。この食事ができるまでに、一生
懸命働いてくださった色々な人への感謝の気持ち
を表す「おかげさま」という気持ちが、この
「ごちそうさま」というあいさつです。もちろん
食べ物には、私たちのあいさつは聞こえない
と思います。みんなで声を合わせてしっかりと、
あいさつをすることで感謝の気持ちを分かち合う
ことができます。そしてその思いは食べ物とな
った生物はもちろん、働いてくださった多くの
の人たちにも届いていると思います。

2005年に食育基本法が制定され、学校教育
でも食育に力を入れております。

食の安全性、孤食(一人での食事)や偏食、食
事主体とそれに起因、付随する問題が指摘され、
食を通した「命」の教育が問われています。

中島高夫 会長



一方給食費を払っているから「いただきます、を言わなくてもいい」と子供や学校に言う
保護者もいると聞いたことがあります。

食事は「命」を交換する儀式であります。「い
ただきます」は日本人の食に対する倫理観で
「命の敬意」でもあります。戦後70年、目覚
ましい発展を遂げた日本、一方では飽食の問題
を抱えています。「食」は「人を良くする」と
書きます。

物質的な豊かさの中で「食べ物は体をつくり、
食べ方は心をつくる」ということを各家庭
でも、今一度考えてほしいと思います。

幹事報告

坂本雄一 幹事

- 1、本庄国際交流協会よ
り多国籍料理教室の
ご案内が届きました。
- 2、青少年交換委員会よ
り派遣学生10月次報
告書が届きました。
- 3、ロータリー希望の風
奨学金より風の便り
(週刊30号)が届きました。
- 4、MOA美術館本庄児童作品展 高橋祐介
実行委員長より協賛の御礼状が届きました。
- 5、ロータリーの友2月号が届きました。
- 6、抜萃のつづり その七十六が届きました。



2月誕生日会員



金井福則 2月3日 境野三郎 2月6日

渋谷修身 2月7日 竹並紀松 2月11日

茂木 聰 2月15日

2月結婚祝いの会員

政裕美子 2月2日
関根 貢 2月10日
境野三郎 2月11日
長崎隆司 2月12日
萩原達夫 2月14日



卓話 高柳育行 第2570地区直前ガバナー

『ガバナーを終えて、思う事』

－実践を通して得られる「ロータリーの魅力」－

ガバナー年度では、公式訪問そして地区大会開催にあたり、クラブの会長・幹事、そして実行委員長をはじめとする多くの皆様にご理解とご協力をいただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。



今年度の国際ロータリー会長 ジョン F. ジャームさんは、「今ロータリーは、いわば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています」と述べています。昨年10月に開催された理事会と財団管理委員会では、「全会員がロータリー会員であることのメリットと価値を実感できるよう、力を注がなければならない。」と訴えています。昨年の規定審議会では、クラブがより柔軟に対応できる内容になり、クラブには自主性と責任が問われることになりました。

日本の多くのロータリアンは、国際ロータリーの様々な変更に驚きを示している人も多くいるようです。そのような中で、私たちはどのようにロータリーに関わっていくのか、自分の所属するクラブをどうしたいのか、考えなければならない時期にあると思います。

第2570地区は会員の減少が続いている、我が本庄ロータリークラブは出席率の低迷が続いている。このことはロータリーに魅力を感じられない現われの一つであります。私自身、先輩に勧められて入会しましたが、多くの諸先輩のご指導とともに、「思いやりの心」や

「尊敬の心」があって、ロータリーが続けられてきたように思います。そして私の至らぬ所をご指導いただき、育てていただいたことに感謝しております。自分の不足しているところを、少しづつ満たしてくれたのがロータリーであると思っております。不足しているところを満たしていくのが人生であるとも感じています。

ロータリーに魅力を感じるには、あるいは魅力あるロータリーにするには、ロータリーの

様々な場に参加すること、ロータリーについて学ぶこと、学んだことをもとに実践すること、そしてリーダーとなって発展させることが大事だと思います。皆様にはロータリーを通じて様々な体験をしていただくことで自分自身が満たされることを期待しています。そして満たされることによって魅力が増したロータリアンで構成されるロータリークラブは、魅力が溢ることになると確信しています。

出席率報告

会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
72	9名	63名	34名	62.5%

ニコニコBOX

「高柳パストガバナー卓話宜しくお願ひします。」

中島高夫 坂本雄一 渋谷修身 春山茂之
矢島淳一 茂木 正 高柳育行 佐藤賀則
下谷正男 萩原達夫 岡崎正六 飯塚明男
金井福則 藤井 仁 八木茂幸 高橋福八
浅香 匠 茂木 聰 五十嵐敦子 加藤玄静
坂田清茂 須永秀和 巴 高志 戸谷清一

高柳育行

「今日卓話をさせていただきます。ロータリーの友2月号に地区大会で講演いただいた酒井様の要旨が掲載されています。」

高橋福八

「3月11日夜歌舞伎座で海老蔵の「助六」に河東節のタテ唄で出演します。見物ご希望の方は本日中に高橋迄ご連絡下さい。」

渋谷修身

「昨年暮れ、三男夫婦に7年目にして初めての子供が誕生しました。これで孫が5人になりました。」

「順調に年を重ね、今月で後期高齢者になりました。」

岡崎正六

「1月26日本庄RCゴルフ大会でシニア優勝ができました。パートナーの方々、ゴルフ部の方々ありがとうございました。」

藤井 仁

「2月の夜間例会ありがとうございました。またゴルフ部のみなさまおせわになりました。」

次回プログラム発表

2月9日(木) 第2例会 夜間例会 18:30~

卓話：須賀利治様

テーマ 有機野菜、そしてオーガニックとは！

広報雑誌委員会 山田喜一・岡崎正六・小杉公良・平野 太・藤井 仁

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>